

Title	研究会・ワークショップの記録
Sub Title	
Author	
Publisher	
Publication year	1999
Jtitle	Booklet Vol.4, (1999. )
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Journal Article
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AA11893297-00000004-04211154">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AA11893297-00000004-04211154</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

## 研究会・ワークショップの記録

本研究会は、資本主義の変容と芸術の変容、および両者の関わりをテーマとする研究会である。所員の熊倉敬聡・池田幸弘そして、電通総研の伊藤裕夫の三名が数度の準備的な会合をもち、1997年の春から正式にスタートした。現在は、上記三名に、足立典子（所員・商学部助教授）、沼田美樹（アート・センター嘱託）石橋源士（慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科）、西村淳（慶應義塾大学大学院経済学研究科）がコアメンバーとして研究会に参加している。ほぼ、一ヶ月に一回というペースで研究会をもち、97年度は各自の問題意識の開示と、全体のブレインストーミングを目的として、ディスカッションを行った。全体の総括として、1997年3月21日に、P3 Art and Environment、ATEプロジェクト、メタ都民の協力を得て、ワークショップを開催することができた。ワークショップでは、ゲスト・スピーカーとして、中原蒼二、一色興志子、小倉利丸、田崎英明、芹沢高志、前田富士男、久保田晃弘、西村崇の諸氏をお招きしたほか、一般からの多数の参加があった。98年度は、97年度からの経過を踏まえて議論をまとめる段階に入った。その成果がこのブックレットである。以下に毎月の研究会の報告タイトル、報告者の氏名を掲げる。ブックレット掲載論文は、基本的にはこうした研究会での報告、議論をふまえて加筆・修正したものである。

1997年5月16日 電通総研会議室『『21世紀的芸術』は可能か？—コラボレーションとマルチメディアの可能性—』 熊倉敬聡（所員・理工学部助教授）

1997年6月9日 慶應義塾大学研究室棟研究室会議室「芸術の公共化から、公共の芸術化へ」 伊藤裕夫（電通総研研究2部部長）「マネー・マン」足立典子（所員・商学部助教授）

1997年7月7日 電通総研会議室『『脱芸術／脱資本主義』研究会について』 伊藤裕夫（電通総研研究2部部長）

1997年8月21日 電通総研会議室「問題点を明らかにする為のエスキース」 石橋源士（慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科）

1997年9月12日 電通総研会議室「アート／アーティスト／社会：現代日本におけるアーティストの現状と社会との関わり」 沼田美樹（アート・センター嘱託）

1997年11月26日 電通総研会議室『『脱芸術／脱資本主義』に関するノート（「コラボレーションの脱資本主義的可能性について」の延長線上で）』 熊倉敬聡（所員・理工学部助教授）

1998年1月21日 電通総研会議室「アートマネジメントについて」 伊藤裕夫（電通総研研究2部部長）

1998年3月21日 P3 Art and Environment Gallery（新宿区四谷 4-34 東長寺地下）  
ワークショップ

1998年5月14日 電通総研会議室「半プロダクション礼賛—ボイスをめぐる断章—」

熊倉敬聡（所員・理工学部助教授）

1998年6月19日 電通総研会議室「脱資本主義的労働、脱資本主義的生活を実現していく為の一考察」 石橋源士（慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科）

1998年7月22日 電通総研会議室「高橋悠治を読む ―脱資本主義・脱芸術の視点から―」 池田幸弘（所員・経済学部助教授）

1998年8月17日 電通総研会議室「アートと社会をめぐるメディアの可能性についての考察」 沼田美樹（アート・センター嘱託）「脱資本主義的生活と『民衆の平和』」 西村淳（慶應義塾大学大学院経済学研究科）

1998年9月28日 電通総研会議室「ポストモダンのワークスタイル」 伊藤裕夫（電通総研研究2部部長）

1998年11月6日 電通総研会議室「『人はだれでも芸術家である』X『芸術概念の拡張』=？」 足立典子（所員・商学部助教授）

1998年12月17日 電通総研会議室「脱資本主義的生活と『民衆の平和』」 西村淳（慶應義塾大学大学院経済学研究科）

1999年1月19日 電通総研会議室「沼田美樹論文によせて」 池田幸弘（所員・経済学部助教授）

以上。